学部 / 看護専門領域 / 看護の発展
科目コード：120516

看護管理学Ⅱ Nursing AdministrationⅡ

担当教員	丸岡 直子 川島 和代 田村 幸恵				
実務経験					
開講年次	4年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	看護組織、看護提供システム、リーダーシップ、看護チーム				
学習目的・目標	【目的】 質の高い看護サービスを提供するために看護職者個人及び看護組織が担う役割を理解する。また、看護サービス提供組織の管理・運営や変革、あわせて看護制度改革についても考察する。 【目標】 1. 看護管理に必要な知識と技術を学習する。 2. 医療施設等における看護職者の看護実践活動の現状と課題を看護管理の視点で観察し、その内容を討議することで学習目的の理解を深める。 3. 看護サービスの質向上のための管理・運営に関する組織変革や看護制度改革についての展望する。				

授業計画・内容

回	内容
1-4	医療施設等における看護管理の実際① 演習課題の検討と計画立案 1.チームリーダー・メンバーの役割と看護業務の割り当て 2.一貫性・継続性のある看護提供システム 3.療養環境の調整・整備および患者への環境適応支援 4.医師の指示受けと確実な実行 5.物品管理システム 6.退院支援における看護チームの役割
5-6	医療施設等における看護管理の実際② 医療施設での演習計画について看護管理者と協議
7-10	医療施設等における看護管理の実際③ 演習計画にそって、医療施設等における看護職者の看護実践活動の現状と課題を看護 管理の視点で観察し、看護職者の役割と機能を演習する
11-12	医療施設等における看護管理の実際④ 臨地での学びの発表と全体討議
13-14	看護におけるリーダーシップ・多重課題への対応
15	看護管理の展望

教科書	系統看護学講座 別巻8 看護管理（医学書院）
参考図書等	授業の中で適宜提示する
評価指標	授業への参加状況（20%）、発表（30%）、レポート（50%）の総合評価
関連科目	看護管理学Ⅰ
教員から学生へのメッセージ	質の高い看護実践には、看護職者一人一人の組織改革にむけた熱意と実行力が必要です。看護の提供システムの改善に対して根拠に基づいた意見を表明でき、リーダーシップをとることのできる看護職に成長することを願っています。